

## 安城市保健センター運営協議会議事要旨

日時 令和5年7月19日(水)  
午後1時30分～2時30分  
Zoomによるリモート協議会

### 出席者

安城市医師会会長、安城市薬剤師会会長、安城市歯科医師会副会長、愛知県衣浦東部保健所所長、安城市町内会長連絡協議会書記、安城市社会福祉協議会会長、安城市民生委員児童委員協議会副会長、公益財団法人安城市スポーツ協会副理事長、安城商工会議所事務局長、安城市食育健康づくりの会会長、安城市教育委員会委員、安城市小中学校長会委員、市民代表2名

### 事務局

子育て健康部長、子育て健康部次長、健康推進課長、健康推進課課長補佐兼健康推進係長、健康推進課課長補佐兼保健指導係長、予防係長、健診係長、健康推進係専門主査、健診係専門主査、保健指導係専門主査、健康推進係職員3名

傍聴人 なし

## 1 あいさつ

### 〔協議会会長〕

・3年あまりの間、私たちは新型コロナウイルスにかなり悩まされ、保健センターの各種事業に、大きな影響を受けてきた。安城市の休日夜間急病診療所、新型コロナワクチン接種に、保健センターの事業も注力せざるを得なかった。しかしながら、まだ感染の勢いはあるものの、令和5年5月8日に感染症分類が2類から5類に移行してからは、少しずつその影響がやわらぎ、平時に戻りつつあるというような印象にある。今回は保健センターから、新しい取り組みなどもあると思われる。慎重審議の上、検討をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

## 2 議題

### 議題(1)「令和4年度安城市保健事業等の実績及び令和5年度事業計画について」

#### 〔事務局〕

資料1について説明

### 質疑

#### 〔委員〕

・妊産婦への経済的支援で、出産準備金5万円と出産後支援金5万円の支給があるが、どのように妊婦もしくは産婦にわたるのか。

#### 〔事務局〕

・出産準備金については、母子健康手帳交付の際に面談を実施し、そこで申請書を記入し、銀行振り込みにて支給している。

・出産後支援金については、赤ちゃん訪問の案内を送付する際一緒に申請書を同封し、記入したものを赤ちゃん訪問の職員が申請書を受け取り、口座へ振り込みをしている。

〔委員〕

・若年がん患者の在宅療養支援について、実際に若年の末期がんの患者が自宅で療養することはあるのか。病院で最期を迎える人が多いのではないか。

〔事務局〕

・病院に確認し、対象者がいるという話を聞いている。ただ本当に最期はまた病院に戻ることもあるよう。一時的に自宅で過ごし、最期は病院に戻る場合であっても自宅で過ごした期間はこの事業の対象となる。

**議題（１）について、承認**

**議題（２）「第２次健康日本２１安城計画について」**

〔事務局〕

資料２について説明

**質疑 なし**

**議題（２）について、承認**

**議題（３）「いのち支える安城計画について」**

〔事務局〕

資料３について事務局説明

**質疑**

〔委員〕

・ゲートキーパーを養成することに関しては、賛成である。ただ、小中学生の自殺については、子ども自身が、教員に悩みを打ち明けることは難しいように思う。小中学生の自殺を防ぐために、小中学生にもゲートキーパー教育をすることが必要だと思う。

〔事務局〕

・次期計画策定時に、いただいた意見を取り入れ、検討させていただきたい。

〔委員〕

・自分の近くにいる人が、気持ちが落ち込んでいて、普段と違うという事に気付いた際、その人をつなぐ窓口等はあるか。

〔事務局〕

・その人が訴える悩みの主訴によってつなぎ先が異なる。保健センターで作成した、いのち支える安城計画の概要版につなぎ先が掲載してある。それについてはホームページにも掲載している。相談を受けてつなぎ先に迷う場合は一度保健センターへ相談していただけるとよい。

**議題（３）について、承認**